



くぬぎ通信



2015年12月発行 第304号
市原第7団BS隊 隊長 小西章夫

2015年12月度テーマ ; 開拓術

開拓術

開拓者というのは、後から来る人のために先に行き、ジャングルなどに道を切り開いておく人たちのことだ。

昔、カナダ ナイアガラの滝で恐ろしい悲劇が起こった。
(夫婦と息子の3人が冬の急流に落ちて流されてしまった。まわりの人はなすべがなく、橋に差し掛かったときロープをたらし待っていた。3人はロープをつかんだが助からなかった。中略)
そうだ、もしその場にボーイスカウトがいたら、きっとこのかわいそうな人々を助けることができたに違いない。橋からロープを下ろすとき、輪を作って置いて遭難者が体を入れるか手足を通すかできるようにしておくべきだった。スカウトは正しい結び方を知っておかなければならない。正しく結んであるかどうか、命に関わることさえあるからだ。

B-P「SCOUTING FOR BOYS」
キャンプファイア物語8 開拓術から

上に紹介したスカウティング フォア ボーイズの話では、ロープを投げ込む人たちに、ロープの先を結んでおくという知識や結び方の技能があれば尊い人命が救われたことでしょう。実際にそのような場面に遭遇することは非常にまれなことと思います。

しかし、人命救助に至らなくても、スカウト技能や知識を身につけておくと、スカウト活動中だけでなく日常生活の色々な場面で役立ちます。(救急法は、まわりの人がケガをした場合にすぐに役立ちます。)

また、ひとつの技能や知識でなく、色々な組み合わせや応用でさらに色々なことができるようになり、おもしろくなります。

そのためには、まず基本が大切です。例えばロープ結びでは、まず結び方を覚えること。班長に教わろう。そしてそれを実際に日常生活やキャンプで使ってみよう。実際に使ってみてできるとちょっとうれしくなります。うれしさを少しずつ増やしていこう。わからなかったら、班長に聞いてみよう。うまくできたら、班長に伝えてサインをもらおう。

そなえよつねにでがんばろう。

今年度の月間テーマは、スカウティング フォア ボーイズ 各章の副題から引用しています。

スカウト諸君へ

1月の活動予定

テーマ ; ひとを助ける
活動目標 ; 野外活動により、大自然を知る。
プログラム ; キャンプ 立ちかまど 料理
ソング ; 谷間のキャンプ

日時	場所	集会	内容	備考
調整中		班会議	キャンプの要望	
1/8	国分寺公民館	合GB集会	キャンプ企画、合同隊集会	
2/7	野営場	GB訓練	キャンプ技能 立ちかまど	
2/7	野営場	班集会	キャンプ技能 立ちかまど	
1月→2/27-2	野営場	隊集会	1泊キャンプ	



11月22日(日)ユニセフ募金
イトーヨーカドー姉崎店前にて

当日は50,254円の募金が集まりました。
奉仕ありがとうございました。

ひとを助けることは、我々スカウトのつとめです。

ユニセフ(UNICEF 国際連合児童基金)

(詳しくは、<http://www.unicef.or.jp>)

募金をもとに世界中の子どもたちが直面している問題のために活動する国連の機関です。アフリカ、アジア、中東、南アメリカなど150以上の国と地域で活動しています。

世界の子どもたちは、以下のような状態で困っています。

- 病気が治らなくて命を失う。
- 栄養が足りない。
- きれいな水が使えない、飲めない。
- 学校に行けない。
- 紛争に巻き込まれている
- 家計を支えるために働かなければならない。

100円で子どもたちのためにできること

- ポリオワクチン 6回分
- 経口補水塩(脱水時に補給) 12回分
- 4-5リットルの水を浄化できる薬 192錠
- ビタミンA錠(年2錠で免疫力向上) 100錠